学力向上対策として実施されている漢字検定の状況は

小野沢 久 議員

質問　19年度から中学校で漢字検定を実施しているが、状況を伺いたい。

教育長　中学１年生全員を対象に実施しており、基礎的学力の定着度の把握、また実態を把握して学習指導に生かしていくこと。さらに学習意欲の喚起をねらいとしており、各学校からは検定への興味や関心も高く積極的に取り組んでいるとの報告もある。検定の成果については経過を見ながら適切に評価していきたいと考えている。

今後、教育センターでの教材の開発を含めさらに学力向上に向け努力していきたい。

▲第2中学校の学習風景

まちづくりに活かせないか定額給付金の基金化で

阿南 育子 議員

質問　ばらまき的でなくもっと意味のある使い方をしてほしいなど様々な意見がある定額給付金だが、市民に協力を仰いで寄附していただき、教育に力を入れるなど、具体的施策を行うための市民基金を立ち上げて、まちづくりを進められないか、その可能性について伺いたい。

市長　市は、ふるさと納税による寄附を既に募っており、新たな基金をつくる予定はない。寄附に御賛同いただける方にはぜひお願いしたい。市のホームページで「ふるさと納税」の内容について詳しく紹介しているので、ご覧いただきたい。

▲ふるさと納税ホームページ

ホームページの活用と公開

市民のご意見箱の内容公表の考えは

杉山 行男 議員

質問　市民からのご意見、提案などは個人が特定できないように編集して公表する場合があるとのことだが、公開した方が開かれた市政としてメッセージを送れると思うので、ご意見箱の内容が公表できないか伺いたい。

市長　通信回線利用により利便性が図られたことでお問い合わせやご意見は年々増加傾向にあるので、20年度分からになるが、代表的なご意見を集約し、分野別に公開する作業を行っており、3月中旬までにはホームページ上に公開していきたいと考えている。

▲市民のご意見箱ホームページ

観光資源としての米軍ハウスや蔵の研究を進める考えは

堀 雄一朗 議員

質問　市の文化財以外に、民間ではまちの観光資源としての開発を視野に米軍ハウスや蔵の研究を進めている方がおられる。郷土資料室の収集対象資料に加えたり、研究支援を進める計画はないか伺いたい。

教育長　観光とはすぐれた文化遺産や自然を見ることと理解すれば、市内のさまざまな文化財は観光資源として有意義である。ハウスや蔵の研究をしている方には市民活動促進補助金を18年度から3カ年支給し、市民活動サポートセンターで活動報告をしており、郷土資料室でも展示の場の提供ができると考えている。

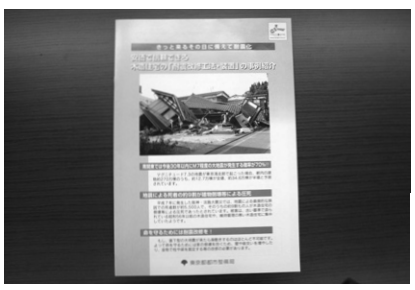
▲現在のハウス

中小商工業振興対策として住宅リフォーム制度の活用を

奥富 喜一 議員

質問　現在の厳しい経済状況の中、現実に銀行の貸し渋り、貸しはがしなど中小商工業の環境は特別厳しいものだが、中小商工業振興対策として、耐震補強等の住宅リフォーム制度の活用はできないか。

市長　福生市では、福生市耐震改修促進計画に基づき、木造住宅の耐震診断や改修に要する費用の一部を助成している。専用住宅もしくは店舗併用の個人住宅の耐震補強の助成であり、要綱では市内業者に限定しており、しかも、市内業者はいずれも中小業者であるので、中小商工業対策になると思う。



▲耐震補強パンフレット

町会･自治会の集会施設

これからのまちづくりにおける位置付けは

増田 俊一 議員

質問　「五つの元気」推進計画の中で会館の老朽化による建て替えや、耐震補強促進のための補助率や補助金限度額の見直しが記載されているが、今後の町会・自治会会館などのまちづくりにおける位置付けについて所見を伺いたい。

市長　自主的な活動の拠点として、また耐震性やバリアフリー等の安全対策を図り、災害時の集合場所や避難場所となることが望ましいと考えており、今後とも地域コミュニティの活性化のため町会・自治会の主体性を損なわないよう十分留意し、会館の運営を含めて支援していきたい。

▲熊牛会館

声の市議会だより

をご利用ください。

市では、市民ボランティア団体と協働で視覚障害者（1･2級）の方に「声の市議会だより」をお届けしています。今回より従来のカセット版からデイジー方式によるCD版へ切り替えを行います。是非ご利用ください。

デイジー（DAISY）とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをページや見出しですぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）。

公園のあり方について

少子高齢化の中で高齢者遊具設置の方向は

原田 剛 議員

質問　児童遊園の周辺に住んでいるのは高齢者という状況も多くなり、国土交通省の公園遊具増減報告でも高齢者の健康遊具が増加している。公園づくりとして高齢者健康遊具の設置を進めていくことも必要だと思うがどうか。

都市建設部長　少子高齢化の中で子どもたちの公園利用は減少し、散歩しながら公園に立ち寄るなど高齢者の公園利用は増加すると思われる。今後は高齢者のための健康遊具の設置も必要になるので、市民の皆さんの情報をいただきながら設置の方向で進めていきたい。

▲南公園の健康遊具